

揚炭機の据付工事が開始

揚炭機3、4号機 新たに建造・据付

東日本大震災の津波により損壊した相馬共同火力(株)新地発電所の揚炭機3, 4号機が新たに建造され、15日相馬港5号ふ頭(同発電所専用ふ頭)にて、据付工事が行われました。

5号ふ頭には4基の揚炭機が設置されており、このうちの2基が津波により被災を受け撤去されていました。本年2月に5号ふ頭が供用再開となり、現在まで2基の揚炭機によって石炭の荷役作業を行っていました。

新しい揚炭機は、高さ42メートル、重さ1,200トンで、1時間に1,500トンの荷役能力となっており、8月上旬の本格稼働を目指しています。



▲起重機船による据付工事の様子



▲震災直後の5号ふ頭
(手前の2基が津波により損壊)



▲据付工事完了後の5号ふ頭

